

申し上げまでもなく、わが国の経済は一昨年のドルショック、
 昨年の円切り上げ、
 等によりまして中小企業に対する影響は非常に大きいもの
 のかございます。そのため国税はもとより地方交付税の伸
 び悩み等々地方財政に与える影響はまことに大きいものか
 ございます。反面発展に伴いまして都市的機能の充実と
 はかまことか急務とされ一般経常経費の増加により、
 ますます地方財政は困難なものとなっております。
 以上のような体系の中において一朝一夕には不可能な何
 年もかかります市づくりです。私が常に申し上げてあり
 ます市民の皆さまが健康で安全で便利なそして快適な
 生活ができてくる町づくりを念頭に置いて、
 ますます教育環境を
 なるべく早く整備し主として市民のためになくてはならない
 環境の施設をできるだけ早く完備をし、
 快適な生活の
 ための好環境をつくらねばならないと考えております。
 先
 輩の市に一日も早く追いつけ、
 ということでございます。

四十八年度予算はこのような長期的作業のうちどれだけ可
 能かということでございます。長いビジョンのうちどれだけで
 きるかということでございます。
 では四十八年度の予算編成について申し上げますが、
 詳細
 しいことにつきましてはおぼろげに説明を担当が申し上げます。
 本
 年度も前年度同様非常に苦しい財政の中で積極的に諸策
 の実施に取り組ましました。本年度の財政規模は一般会計で
 総額三十二億五千九百四十万四千円、
 幅な伸びとなっております。本年度は五つの柱から予
 算編成をいたしました。

第一に市民とともに考え市民とともに推し進める市政の
 実現であります。市民のための市政を推進するには広く
 市民の声を聞き、
 できふ限り市民の要望にこたえなければ
 ならないと思っております。そのため広報、
 公聴活動
 をより充実させてまいります。本年から市政モニター
 制度と消費生活モニター制度の発足および留守番電話の

設置をいたしました。市民の声を収集しまた広報車を購入いたしました。すややかに、市の知らせ、かてきまような態勢を整えていきたいと思ひます。

第二に市民福祉の増進であります。まず本年度から重度心身障害者福祉手当を支給いたします。心身に悩みのある不自由な方々に少しでもお役にたてていただく月額二十円を支給するもうてございます。本件につきまして本条例案を提出してございますのでようしくお願ひを申し上げます。

次に就学児童生徒を全員交通災害共済に加入いたさせまして、市での経費を負担いたします。学童における交通事故は全国的に多発してあり不慮の事故に備えより制度を充実いたしました。また一昨年幼稚園、保育園に入園された方々には補助金を差し上げておりますが未就園の方々に入学祝金としてわずかとあります。本年度から支給させていただきますと思ひます。



老人対策であります。本年度も徐々ではあります。充実させてまいります。本年は敬老の日記念品を全員に配布いたします。従来は敬老の日に出席された方々だけに差し上げたのでございますが、本年からは、もれなく全員に差し上げるようにいたします。

第三に自然の保護育成であります。まず公害の防止であります。本年はマイクロバスを購入し測定器を搬入し各種の公害の測定、監視につとめてまいりたいと思ひます。なお東京都にあきましても西多摩地区にオキシダント、窒素酸化物、亜硫酸ガス、一酸化炭素等の公害の測定器を設置する考えのようてございますので、福生市に設置すべく都に対して、強く交渉中でございます。次に緑化の推進でございます。本年度も薬剤散布による防虫植樹等緑化運動を進めてまいります。なお苗圃も設置する予定でございます。公害防止とともに自然環境を守

る。と、健康保持に大きな役割りを果たすものと確

信してまいります。

第四に近代的な都市の建設であります。

まず第一に下水道事業であります。流域下水道事業につきましては昨年に引続き事業が進のうれますが本年度は福生市内の工事を実施されるものと思ひます。公天下水道事業につきましては近々事業計画が決定される予定であります。決定次第本格的に事業に着手いたします。またその節は下水道会計を新しくもうけるようになると思ひますのでよろしくお願ひを申し上げます。

上水道事業におきましては引き続き拡張事業を進めてまいります。本年も配水管の布設を中心として実施いたしますがより普及率の向上につとめてまいります。

福生駅東口開発事業であります。現在地元の方々と話し合いを進めておりますが、早期に実現すべく努力を傾注してまいります。道路の整備につきましてはあかびさまをもちまして舗装改良が進んでまいりました。舗装率も

約七〇％近くになっております。本年も積極的に事業を推進してまいります。

区画整理事業におきましては引き続き進めてまいります。諸事情によりまた私の不徳のいたすところでございまして、期限の延長をやむなくさせていただくようなこともございします。たいへんにこの点は申し設なく思っているわけでございします。がよろしくお願ひを申し上げます。また多摩河原地区の団地の建設も今年完成される予定でございします。公園の整備でございします。公園は市民の憩いの場であり施設の充実をはもとより管理におきましてはより整備してまいります。交通安全施設につきましては、例年実施しておりますが歩行者の安全の確保をはかるべくガードレール、道路照明灯の諸事業を進めてまいります。

横田排水路事業につきましては、関係の方々に多大なご迷惑

をおかけしておりますが、本年は補助金の大幅な増額をいたたきまして早期完成に努力をしております。

消防施設におきましては、本年度も消火栓および消防貯水槽を増設いたします。また本年から現在の福生地区消防組合を議員の方々のご協力をいただきまして都の消防庁へ委託することになっており、これによりましてまた一層強力な防災体制の確立ができると思っております。

商工振興につきましては、商工会への補助金はもとより中小企業振興基金の貸し付け条件等を緩和いたしまして、振興対策を講じてまいりたいと思っております。ことに福生駅を中心としたしまして大型店舗も進出されるようでございますのでその対策につきましては商店側と早急にご相談をすべき問題と考えております。

第五に教育、文化、スポーツの振興でございます。

小・中学校の整備であります。本年は多摩河原地区に小・中学校各一校ずつ新築いたしたいと思っております。また

本年度から都の補助金をいただきまして保健室に空気清浄機を設置を漸次的に設置し、児童生徒の保健施設も整備してまいります。

また本年は第一小学校が開校以来百年に当たりますので、その記念事業として若干の経費も計上いたしました。

次に第一中学校の体育館の改築を行ないます。たいへんに老朽化しておりますので迷惑をおかけいたしました。たいへん早く建設に着手することによってできるようになりました。

規模は現在よりやや大きく目になろうかと思っております。社会教育関係におきましては文化財保護ならびに収集と社会教育団体の育成であります。

文化財保護につきましては条例案をお願ひしてございますが、貴重な文化財を保護し同時にできるだけ収集をはかり保存していきたいと考えております。

社会教育団体の育成であります。最近ますます団体が増加しかつ活発化してありたいへん喜ばしい次第でございますので、市といたしましても補助金の増額をはかり育成

してまいりたいと思います。

最後にスポーツの振興でございすか、あかげさまをもちまして、たいへんお世話になりました。市民体育館が、りっぱに完成いたしました。建設にあきましてはたいへんなご指導をいただきました。ほんとうにありがとうございます。この市民体育館を有意義に活用してまいりたいと思います。今後はより以上に市民総合体育あるいは各種の競技大会を通じましてスポーツの振興に努力したいと思ひます。

以上まことに取りとめのないことを申しましたが、他にも数多くの問題があります。これらも徐々に解決すべく努力をしております。市議会の皆さま方の一層のご協力をいただき、またご意見を拝聴して、本年度も福生市が発展いたしますよう祈願をいたしまして私の発言を終わらせていただきます。

たいへんつたないこととてございまして時間を浪費させていただきましたが、何ぶんともようしくお願いいたしますとてございす。



ありがとうございます。(拍手)

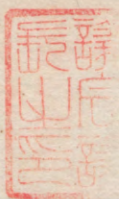
議長(末次性男君) 以上で市長の施政方針演説は終わりました。

議長(末次性男君) 日程第四一般質問を行ないます。

一般質問についてはすでに通告されておりますので通告の順に従い発言を許します。十九番大野行夫君

(十九番大野行夫君 登壇)

十九番(大野行夫君) 貴重な時間をあ許しをいただき、先に通告をいたしました福生市の経済、消費の両面よりみしました首都東京を囲む周辺都市としての今後の方向づけのあり方につき、市長ならびに助役にその答弁をお願いいたします。なか福生市の現在の地域における役割りは、今より三十数年前をさかのぼる昭和十三年ごろより旧陸軍航空隊の発足により、農業及び蚕糸を中心とした農村より消費を中心とした主たる生産業ももたず町づくりが伸びた次第でございす。



昭和二十年九月を契機にいたしました米回航空隊の駐留により、現在の市街地構成へと変貌いたしました。そして二十八年を過ぎた現在都市銀行等の相次ぐ進出により福生市のこの地方で示す立場、東京圏に対する責任もあり地方経済・消費都市へとなり西多摩地区のリーダーシップとして指導的立場にあることは市民各位また市担当者周知のとおりであります。

埼玉県の入間市方面、西多摩の北端氷川町方面として西端の検原村等々、国鉄八高線、青梅線、五日市線等の三本の幹線を利用する交通機関。国鉄福生駅を中心として延伸するバス路線がその実績を如実に示しております。昼間人口十万人の町づくりも現実の姿としてあらわれております。こうした世情の中において今日このような市の繁栄の一端を市内各地域に点在する各商店街の努力、精進がなされた核としての働きが原動力であったと言っても過言ではないと思っております。

こうした現実のもと、国鉄福生駅を中心として東西口にショッピングセンターとして西友ストア、長崎屋等の進出はこれからの市経済、市繁栄への上になさく貢献してまいりますことは即、消費者である市民の経済の上にも大ま

く歓迎されております。しかしながらいくう大型な有名店の進出があってもこれを結ぶ一貫として通路、ショッピングロードの建設が最も大事であると思っております。福生駅という障害、青梅線による東西の遮断をどう結ぶかにかかっております。この計画を誤りますと大型店の前途もいままで市にあらゆる面において貢献いたしました各商店街の行く末も案じられる結果になるものと思っております。

市長は就任以来東口開発を計画の上のせ今日まで福生駅周辺、特に東部開発六六〇〇〇平方メートルの区画整理事業を打ち出し事業決定のひと足手前までこぎつけてまいりましたか、大型店等の進出に合わせ、さっそう計画をた

サッカー場として大きく衣がえをいたし青少年の育成に大きく福祉行政に貢献できるものと思ひます。

市長は市の発展にその基礎として計画される市街地開発、駐車場の視察または市民の体位づくり等の先進地の調査にはあまり参加されていふしやうないように見受けられますが、多忙な時間の中より時間をつくり市民の安定した生活を考えるべきではないかと思ひます。

福生駅に進出する西友ストアとともに西武鉄道の誘致も考えるべきであり、昭和五十二年には国鉄も中央線が立川駅まで復々線の完成をみる段階になっております。米軍立川基地返還により立川市においては駅中心をこの基地の一角にもつべきであるとの意見のもと現在その計画に入っているともうけたまわっております。

一、これから地域の開発に開発公社の設置等を考へて計画を進められることをどうようにお考へであるか

二、民有地の確保によりげたばき住宅の建設商店経営者と

ともに店舗つきアパートの建設を考へていられるかどうか

三、西武鉄道の福生までの乗り入れをどう計画されるか

四、市営グラウンドの改装を考へていられるかどうか

以上四点の明確なる答弁を市長にお願いいたします。

質問の第三は、先ほども冒頭の市長の施政方針演説の中で述べてありました横田基地の問題でございます。

米空軍の使用している横田基地の撤去を叫び、今回の

米空軍関東地区の横田集約問題に反対を唱えるとともに、市長の明確なる対策と方針をどうかかいするものでございます。

関東平野に点在するこれら米空軍の諸施設を横田基地に集約する件につきましては、去る一月二十三日の日米連

絡協議会において明確とされ、現在第一期、第二期工事が完了第三期工事が着手されております。

これにより米国の極東アジア政策の大きな軍略空軍基地となることは

明白であります。立川市をはじめ昭島市、武蔵村山市、羽村町等関東地区各地にまたがる米軍基地は、



二、三年の間に全面あるいは一部等々の返還がなされ、
あと土地利用に都市計画の基本構想をいかに早く進められ
てあります。

わが福生市はこれら返還基地の撤去の大きな犠牲となり
流末処理場のごとく日に日に悩みは深まっております。

横田基地集約は新たに関東平野の一角に新しい市の誕
生を見たと言っても過言ではないと思います。

この横田基地には集約により完全に周囲市町とは独立し、
基地内であらゆるショッピングまたあらゆるレクリエーション等を行う
施設が新たな計画のもとに現在進められています。一
切の建物娯楽施設が整い外部への交渉がなくなることは明ら
かであり、ドルショック以来の冷たい風が強風となって基地前
の横田商店街に吹きさらすことは火を見るよりもたやすい現
状となっております。

横田基地という大きな岩石はあらゆる方面において障
害に障害を生み、一日も早く返還を求め、平和産業



の施設にすることです。基地返還は相当長い間ある

いは半永久的な戦いではありませんが、横田基地が仮にわ

が福生市の計画どおり利用できるとしたならば市政百年を考
えたときに数字をあげて毅然たる態度で今後の政府折衝
を行うべきであるという立場においてあらずないし、また数字
をあげて申し上げますが、横田基地が仮に利用できたなら

は横田基地が使用しているわが福生市の行政面積百万坪の
地域は、福生市の東部都心への連絡網に最も重要な地
域であります。市の発展に大きな障害であります。

経済・商業面の進出の生命を奪われたといっても過言
ではないと思います。

わが福生市の成長への生命であることは、都市計画路
線一、三、一、を中心にした工業団地の姿を見ましても明
白に示してあります。横田基地に行政区の利用を許してあり
ます各市町をみましても、立川市は市の北部の一部であ
り、武蔵村山市は西部の一端にすぎず、瑞穂町、羽村町

も市街化構成よりは遠く離れた一画にすぎません。それに立川市、羽村町等返還も決っております。東部は横田基地にさへうれ西部は多摩川に切断され、南北の進出も昭島市、羽村町に接続してあります。当市の現状であり、横田基地の存在がことあるごとにクローズアップされております。

福生市より青梅市に至る工業団地は、福生、羽村工業団地十五万坪、また羽村町にあります日野自動車は二十万坪。羽村、青梅工業団地は五十万坪。青梅の霞工業団地が十五万坪、を合わせましてちょうど横田基地と同じでございす。積が福生から青梅までの工業団地の面積と同じでございす。この横田基地に撤収されている同じ面積の工業団地から入る税収だけをみましても、これは二年前の数字でございす。福生十一社を対象にいたしましても法人税八百万円、固定資産税一千百万円。また羽村町では九社の大手会社で法人町民税一億円、固定資産税は二億二千万円。青梅市は二十九社を対象にいたしまして二千五百万円の法人市民税、一億



二千二百万円の固定資産税が入っております。これら三工業団地より得られる税収のみをみましても四億八千六百万円という数字があらわれております。そしてここに勤める全従業員数をみましても福生工業団地十四社を調べましたところ約一千名。羽村工業団地九社で約八千五百名、青梅工業団地も十三社で約三千五百名であります。合計一万三千名、千名の人たちがこの三工業団地に勤めている数字があらわれております。

これが福生市の人口の四分の一に当たり、福生市の成人数が工業団地でまかなえることになりました。この一万三千名の従行員を市民として置きかえますと平均所得一万六千五百円とみましても二億一千四百五十万円。このような収入は、これを一般消費に基き商店街の売上などの一部に加算いたしますと営業所得平均二万五千三百円といたしましたも約二十万円の増収がみられます。今年度予算に計上してあります市税九億円をばるかに上回り、総収入二十億円近い